

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年12月27日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873200349		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム れんぎょう	ユニット名	西
所在地	〒319-0206 茨城県笠間市安居3144-521		
自己評価作成日	平成22年6月23日	評価結果 市町村受理日	平成22年12月23日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年8月10日	評価確定日	平成22年12月8日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

各利用者様のプライドを大切に 本人の出来る力を引き出すような介護が出来るように取り組んでいます
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

新しい理念を玄関に掲げ、職員は日々利用者の笑顔が絶えないよう支援に取り組んでいる。 利用者は事業所の敷地内で季節の野菜を栽培し、食材として活用している。 運営母体が医療法人であり医療連携が整い、利用者本位のケアを管理者と職員のチームワークで実践している。
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	やさしく・しんせつ・ていねいにをモットーとして 近隣の方と 共に暮らす人とのふれあいを大切に暮らせるように努めています	「笑顔のある生活、近隣の方との交流や人とのふれ合いを大切に、お互いに支え合い共に歩む」を理念として実践につなげているが、新しい理念を作り上げたばかりなので全職員で共有するまでには至っていない。	理念を日々確認するとともに全職員で共有し、実践につなげることを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩にでたときに 挨拶を交わし行事等への参加のお誘いをしています ホームの皆さんへとご自身が不要になったものを誰か要りませんか？ともってきてくれる方が居ます	利用者は散歩時に近隣住民と日常的に挨拶を交わしている。 自治会に加入していないが、事業所主催の七夕会や納涼祭へ近隣住民を招待し交流している。 毎年近隣の小学校から福祉教育の一環である体験学習を受入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議・行事等の参加を頂く事で 認知症のかたの理解は していただいていると思います		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議のときに 行事等の開催に向けて意見を求めたりしています 困っている事を相談する事もあります	運営推進会議は家族等の代表や市職員、近隣住民などで2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所から避難訓練や行事の報告をしたり、市職員から市内の地域密着型サービスの利用状況報告があるほか、近隣住民から「消防団との日頃からの交流が大切」との意見が出るなど、有意義な話し合いが行われ、出た意見等はサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	施設見学の受け入れなどをしていません（社協）生活保護の方の利用が多くなると共に福祉関係の方の来訪が多くなりました	運営推進会議に市担当者の参加を得ているほか、生活保護受給利用者について市担当者と連絡を密に取ったり、市主催の施設見学会を受入れるなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の鍵はかけていますが身体拘束はしていません 身体拘束をしない事を原則として介護に取り組んでいます	玄関は職員から見えにくく、道路に面しているため安全を考慮して施錠しているが、利用者の居室は全て掃きだし窓になっており自由に外に出ることができる。	研修や勉強会を実施し、全職員が禁止の対象となる身体拘束の具体的な行為を把握するよう取り組むことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に行くということはありませんがホーム内研修は行い言葉の暴力にも十分注意しています 不審なアザ等を見つけた時には虐待ではなかったかを皆で話し合っています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じては支援しています 現在成年後見人制度を利用されている方が居ます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用の際十分説明しています いつでも 不安な事・疑問に思う事は話し合いが出来るようにしています 家族の方が 何でもいえるような雰囲気を作るように努めています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置 苦情窓口の案内を玄関に掲示しています 昨年はアンケート調査をしました	重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに契約時に説明しているほか、玄関に意見箱を設置している。 家族等の来訪時には声をかけ希望を聴くように努めている。 実施した家族アンケートで出た意見を受け、運営推進会議やサービス担当者会議の開催日時を事業所便りに掲載するなど、利用者や家族等の意見や要望を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月 法人の会議があり そこで意見を言う事が出来ます 何か有るときには 随時聞いてくれます 必要時 カンファレンスを設けています	管理者は日々の申し送りや事業所内の話し合いで職員から意見や提案を聞いている。 事業所内で解決できない問題は、月1回の法人会議で提案したり、同一法人グループホームの主任の集りで相談している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	チームの職員の相性を考慮してくれ自分が責任をもって仕事出来るように配慮されている 仕事に疲れすぎないように休暇にも配慮されている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修はありませんが機会がある時には研修に参加しています自主的に参加を申し込むときでも勤務等の配慮があります		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社会福祉施設共同事業連絡協議会より他施設等の交流が持て研修にも行くことができます		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今 困っている事・要望等聞くようにし 生活に慣れるまでは 側にいて 不安に思う事が無い様に支援しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	困っている事・要望等を聞いてサービスに取り入れています 疑問に思う事など 其の都度に話せるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者の状況に応じて対応しています 家族の思いも十分聞くようにしています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来ることは お願いし 一緒に行っています (掃除・洗濯・下膳・食事介助) 他利用者の見守りを御願ひする事もあります		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	必要に応じて 家族と相談しながら支援しています 外出・買い物などは家族に御願ひしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	要望があれば支援しますが 馴染みの方が来所される事は余りありません 手紙・電話で連絡をとられている方は居ます	管理者や職員は利用者が希望する外出支援をしたいと考えているが、事業所には車両が無いため利用者の希望を家族等に伝え、馴染みの場所や墓参りなどに家族等の協力を得て出かけられるよう支援している。 親族や知人が来訪した場合は気持ち良く過ごせるように配慮している。 手紙の投函や電話の取り次ぎを支援し、利用者のこれまでの関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立する事が無い様に支援しています 利用者同志が 助け合えるように配慮しています (見守り・食事介助・移動介助等)		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用 (契約) が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了は逝去であることからお付き合いはありません 1年後の命日に お手紙を書くことはあります		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向 思いを聞いて支援しています 聞くことが困難の方は 行動・言動から 其の思いを汲み取るようにしています	職員は利用者や家族等から話を聴き希望や意向の把握に努めるとともに、希望にそった支援をしている。 意思疎通が困難な場合はしぐさなどから思いを汲み取り、利用者本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今まで どんな生活をしていたのか家族から聞き取りをしています また 日々の生活の中から聞かれることもあります サマリーを御願います事もあります		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送り・個人の記録を読む事で一人一人の状況を把握するように努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族 本人の思いを考慮して 会議を開いて介護計画を作成しています 毎月の支援経過の記録をする事で計画の見直しをしています	介護計画は3ヶ月に1回見直すとともに、要介護認定更新時や要介護度変更時に作成している。 介護計画は医師の意見を参考に家族等の希望を取り入れ、日々の状態を把握のうえ職員で話し合い作成している。 来訪できない家族等には事業所便り発送時に意見を書くスペースがある介護計画書を送付し、意見を求めるとともに同意を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のケース記録に 日々の暮らしぶりを記録し それを読む事で情報を共有しています また 申し送りの場においても 情報を共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて 家族と相談しながら柔軟に対応しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事等の際に ボランティアの方に協力を得ています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が病院ですので 入居時に 家族・本人の意向を確認して協力病院の受診でよいか決めていきます 他病院受診の際には 家族に協力を御願ひしています	入居前からのかかりつけ医を希望する場合は家族等の送迎で受診している。 協力医療機関の訪問診療が2週間に1回あるほか、歩行が可能な利用者は協力医療機関の送迎バスを利用して受診している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	些細な事でも気になる事は 看護師に相談しています 受診時には 普段からの様子を伝えるようにしています		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリーを書いて情報を共有しています 早期に退院できるように病院関係者と話し合っています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	見取りはしていませんが 家族の要望があれば なるべくホームで過ごせるように支援しています	契約時に利用者や家族等に医療連携体制加算と重度化や急変時の対応について書面で説明し同意を得ている。 看取りは実施しておらず、常時医療処置が必要となりグループホームでの生活が困難であると医師が判断した場合は、利用者や家族等と協議のうえ、協力医療機関や他施設と連携を図るよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を受けています 急変時のマニュアルを作成して こんなときどうするかを 看護職員に聞いています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導の下に 避難訓練を行っています 地域との協力体制を運営推進会議を通じて維持してゆく	消防署指導のもと総合訓練と夜間を想定した自衛消防訓練をそれぞれ年1回ずつ実施している。 飲料水とスナック菓子などを備蓄している。 災害時に備え近隣住民と連携を図るまでには至っていない。	災害時に協力が得られるよう近隣住民に避難訓練への参加を呼びかけるとともに、地元の消防団と日頃から協力体制を築くよう取り組むことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各個人のプライドを大切に声掛けに努めています 言葉遣いには お互いに注意しあっています カンファレンスで話し合うこともあります	職員は利用者一人ひとりのプライバシーに配慮するよう努めているが、居室によっては紙おむつが収納されずに置かれてあるなど、利用者の誇りに配慮するまでには至っていない。 個人情報の書類は事務所の鍵の掛かる場所に保管している。	紙おむつは人目につかないよう収納に工夫するなど、職員は利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応に努めることを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の意志を尊重するようにし出来る範囲内で希望に添うようにしています また 二者択一で どちらが良いか聞くようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物 散歩 手紙を出しに出かけるなど 本人の意思を尊重している外でのお茶の参加も 本人の希望を聴いています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分の好みのものを着ていただいている 1日に何回も着替える方が居て おしゃれを楽しんでいる 着物を着ることを楽しみにしている 着衣の乱れは さり気なく直している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各個人の力量に合った調理をしています（粥食・刻み食・盛り付けの量など）好き嫌いにも対応しています食事が楽しめるように配慮しています下膳はお手伝いいただいている	運営母体の栄養士による献立の食材が届き、職員が1ヶ所の台所で3ユニット分を調理している。ユニット毎にご飯と味噌汁を作り盛り付けと配膳をしている。利用者はできる範囲で後片づけや皿洗いなどを職員と一緒にしている。職員は利用者の状態に合わせて刻み食や粥などを提供しているほか、利用者と同じ食卓を囲み楽しい雰囲気です食事ができるよう支援するとともに、行事食や弁当などを取り入れ食事が楽しみなものになるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事の摂取量を記録食欲低下時には個別に詳しく記録していますまた好みのもので代替する事もあります		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを声掛け又は介助しています舌の汚れにも配慮しています		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人に合わせて排泄介助をしています尿意・便意のある方はトイレに誘導無い方でも定時誘導をしています	昼間は紙おむつを使用せずに、職員は介護記録で利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、時間やタイミングを見計って声かけやトイレ誘導をしているほか、尿意や便意が無い利用者の場合には定時に誘導しトイレで排泄ができるように支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事 水分 運動をするようにして便秘とならに様に支援しています 医師から 緩下剤の処方を受けている方も居りますが 便秘の方は居ません		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間は決められてはいますが入浴を楽しめるように 各個人のペースに合わせて支援しています	ユニット毎に週2回の入浴日が決まっているが、必要に応じていつでも入浴できるように支援している。 入浴を嫌がる利用者の場合は無理強いせず、利用者に合わせて支援しているほか、疥癬など皮膚疾患の利用者には毎日の入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく 日中は身体を動かすように支援しています 昼食後は 午睡の時間もあります 好きな時に居室において休む事は出来ます うたた寝が多くなるように声かけしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々に対しての内服薬をファイルしていつでも確認できるようにしています きちんと内服出来るように支援 誤薬とならないように注意しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カレンダー作り 行事ごとのお手伝いなど 楽しんで参加できるように支援しています 中庭での植木の手入れ・花作り・野菜作りなどを楽しんでいる 毎日 折り紙をする方 他ユニットに折り紙を教えに行くなどされています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	車がないため 外出はなく 散歩のみとなっていますが 笠間のつつじ祭りに出かけました 外来受診の帰りには ドライブを楽しめるようにしています 本人希望においては 家族の協力を得て 外出の支援をしています	利用者は気候の良い時期には事業所周辺を職員と一緒に散歩している。医療機関受診の帰りにバスを利用して買物や花見などをしている。利用者の希望によっては家族等に協力を求め、利用者が外出を楽しめるように支援している。 畑仕事が好きで利用者は自家菜園の手入れや草取りなどを率先して行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理でお金を持っている方がおります 事務所で管理している方はおりません		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自分で手紙を書いたり ポストに投函されています 電話もかけたいときに かけられるように支援しています 変わって電話をかけることもあります		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者自身が花を生け 洗面台などに飾っています 部屋の温度 テレビなどの声の大きさなどに配慮しています 室温にも十分注意しています(利用者自身に意見を求めています) 廊下にもソファを置いて 利用者同士が会話を楽しめるようにしています	3ユニットがそれぞれ南向きに配置されており、居間兼食堂は明るく広々としていて不快な刺激はなく、心地良い暮らしができるよう配慮されている。 テレビ前にソファが用意されているほか共用の和室があるなど、利用者が思い思いに過ごせる空間になっている。 玄関には季節の花が飾られているほか 金魚を飼育している水槽があるなど、季節感や生活感を取り入れている。 3ユニットは広い廊下でつながり利用者はお互いに自由に行き来ができる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室なので一人の時間を持つ事が出来ます ソファでは気の合う人同士が 会話や テレビをたのんでいます 他ユニットで過ごされる方も居ます		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人の好みで 家具を持ち込んだりされています 自由に飾りつけも行っています	居室に洗面台が設置されているほか、ベッドと整理ダンスも備え付けてあり利用者の好みで配置している。 家族写真や位牌を居室に持ち込むなど、利用者は居心地よく暮らせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置 バリアフリーになっています 歩行器・車椅子など本人に合った移動手段を支援しています もてる力で 自立した生活が出来るように支援しています		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム れんぎょう

作成日 平成22年12月21日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	14	居室によっては紙おむつが収納されていない	プライバシーを守る	紙パンツ類の収納はタンスの中に収納する 紙パンツ類は利用者の下着として取り扱う	達成しました
2	1	理念の共有が出来ていない	理念の共有が出来る	日々の仕事の中で 実践につなげる為にも共有できるようにミーティングの都度 話し合っゆくようにする	6ヶ月
3	5	身体拘束の具体的な行為を把握するように取り組む事	具体的な身体拘束の行為を把握できる	ホーム内研修を開く 他研修に参加をする等 また 介護の現場で対応のについての話し合いをし 身体拘束について 考える機会を多くする	6ヶ月
4	13	災害時に備えての近隣住民との連携が図れていない	近隣住民との連携が取れるようになる	地元消防団とはいつでも協力してくれる事になっている また、 運営推進会議を通じて協力体制が出来るように取り組んでゆきます	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。